



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ
コード番号 2489 URL <https://www.adways.net/>
代表者 （役職名） 代表取締役 （氏名） 山田 翔
問合せ先責任者 （役職名） 上席執行役員 管理担当 （氏名） 田中 庸一 TEL 03-6771-8512
半期報告書提出予定日 2026年8月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年12月期中間期	6,324	7.1	956	—	1,148	834.1	1,074	—
2025年12月期中間期	5,906	△7.6	△23	—	122	△52.3	△76	—

（注）包括利益 2026年12月期中間期 946百万円（－％） 2025年12月期中間期 △133百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	27.49	—
2025年12月期中間期	△1.97	—

（注）1. 2026年12月期中間連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 2025年12月期中間連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、1株当たり中間純損失であり、また希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年12月期中間期	22,408	14,649	63.2	362.46
2025年12月期	22,295	13,957	60.5	345.20

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 14,165百万円 2025年12月期 13,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	6.42	6.42
2026年12月期	—	0.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	12.06	12.06

（注）1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 2026年12月期は、2025年12月期末の発行済株式数から自己株式を除いた39,082,120株から1株当たり配当金を算出しております。

3. 2026年12月期末配当金の内訳 普通配当7円06銭 記念配当5円00銭（上場20周年記念配当）

4. 詳細は、本日（2026年8月12日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	11,800	△3.4	1,500	404.7	1,750	188.2	1,500	493.1	38.38

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

2. 1株当たり当期純利益は、当中間連結会計期間の期中平均株式数39,082,120株から算出しております。

3. 詳細は、本日(2026年8月12日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更: 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2026年12月期中間期	42,006,000株	2025年12月期	42,006,000株
2026年12月期中間期	2,923,880株	2025年12月期	2,923,880株
2026年12月期中間期	39,082,120株	2025年12月期中間期	39,082,120株

※第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

本資料の開示とあわせて、決算説明会資料を開示しております。

また、2026年8月12日(水)に機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け決算説明会を開催する予定であります。

本説明会の動画(2026年12月期第2四半期(中間期)の業績・事業概況の説明)へのアクセスURLは、開催日同日に当社ウェブサイト(<https://ir.adways.net/>)にて開示予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(中間連結貸借対照表に関する注記)	9
(中間連結損益計算書に関する注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2026年1月1日から2026年6月30日)の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、売上高6,324,952千円、営業利益956,697千円、経常利益1,148,486千円、親会社株主に帰属する中間純利益は1,074,419千円となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前中間連結会計期間 (2025年12月期)	当中間連結会計期間 (2026年12月期)	増減額 (増減率)
売 上 高	5,906,738	6,324,952	418,214 (7.1%)
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	△23,073	956,697	979,771 (—)
経 常 利 益	122,945	1,148,486	1,025,540 (834.1%)
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△76,994	1,074,419	1,151,414 (—)

当中間連結会計期間における当社グループの業績は、中国及び香港で広告事業を行っていた連結子会社の株式譲渡による減収要因があったものの、アドプラットフォーム事業における全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」の需要が増加したこと、エージェンシー事業におけるゲームアプリ及びマンガアプリを提供する広告主(クライアント)からの広告需要が増加したことなどにより売上高は6,324,952千円(前年同期比7.1%増)となりました。

売上高の増加に伴い、売上総利益が増加したことに加え、新卒採用計画の適正化を図ったこと等で販売費及び一般管理費を抑制したことにより、営業利益は956,697千円(前年同期は23,073千円の損失)となりました。

経常利益は、営業利益及び持分法による投資利益が増加したこと等により1,148,486千円(前年同期比834.1%増)となりました。

税金等調整前中間純利益は、経常利益及び関係会社株式売却益が増加したこと等により1,400,926千円(前年同期比1061.2%増)となりました。

上記の結果、法人税等を計上したことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は1,074,419千円(前年同期は76,994千円の損失)となりました。

[セグメント別業績]

(単位:千円、端数切捨て)

			前中間連結会計期間 (2025年12月期)	当中間連結会計期間 (2026年12月期)	増減額 (増減率)
外部 売上高	①アドプラットフォーム事業		2,339,085	2,600,280	261,194 (11.2%)
	②エージェンシー事業	国内	1,977,137	2,118,658	141,520 (7.2%)
		海外	951,298	829,246	△122,051 (△12.8%)
		合計	2,928,435	2,947,904	19,468 (0.7%)
	③その他		639,216	776,768	137,551 (21.5%)
セグメント利益	①アドプラットフォーム事業		587,617	955,443	367,825 (62.6%)
	②エージェンシー事業		247,176	632,866	385,689 (156.0%)
	③その他		96,325	182,215	85,889 (89.2%)

①アドプラットフォーム事業

アドプラットフォーム事業は、スマートフォン向け広告サービス「AppDriver」及び「UNICORN」、モバイル向けアフィリエイト広告サービス「Smart-C」、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」等、当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告の販売、及び運用を行っております。

当中間連結会計期間においては、全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」におけるブランド広告及びマンガアプリを運営する広告主(クライアント)からの広告需要が堅調に推移したことに加え、アフィリエイト広告サービス「JANet」におけるクレジットカード等の金融関連企業からの広告需要が増加いたしました。

これらの結果、アドプラットフォーム事業の売上高は、2,600,280千円(前年同期比11.2%増)、セグメント利益は、955,443千円(前年同期比62.6%増)となりました。

②エージェンシー事業

エージェンシー事業は、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援のため、アドプラットフォーム事業で提供している当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告に限らず、広告商品及び付随するサービスの代理販売を行っております。

当中間連結会計期間においては、国内のエージェンシー事業ではゲームアプリ及びマンガアプリを提供する広告主(クライアント)からの広告需要が増加いたしました。海外のエージェンシー事業では、中国及び香港で広告事業を行っていた連結子会社の株式を譲渡し、連結子会社から除外されたこと等により売上高が減少いたしました。

これらの結果、エージェンシー事業の売上高は2,947,904千円(前年同期比0.7%増)、セグメント利益は632,866千円(前年同期比156.0%増)となりました。

③その他

その他は、土業向けのポータルサイトの運営や、インフルエンサーマーケティングの企画運営、サウナの運営事業、系統用蓄電池事業等の新規事業等により構成されています。

当中間連結会計期間においては、土業向けポータルサイトの運営、インフルエンサーマーケティングの企画運営及びサウナ事業等が堅調に推移したことにより、売上高は776,768千円(前年同期比21.5%増)、セグメント利益は182,215千円(前年同期比89.2%増)となりました。

なお、系統用蓄電池事業等の新規事業の損益の影響は軽微であります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債、純資産の状況

(単位:千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (2025年12月期)	当中間 連結会計期間 (2026年12月期)	増減額 (増減率)
資 産 合 計	22,295,149	22,408,332	113,182 (0.5%)
負 債 合 計	8,337,522	7,758,773	△578,749 (△7.0%)
純 資 産 合 計	13,957,627	14,649,559	691,931 (5.0%)

[資産合計]

- ・流動資産は前連結会計年度末より534,692千円減少し17,577,871千円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が347,375千円、その他に含まれる未収消費税が194,770千円減少したことによるものであります。
- ・固定資産は前連結会計年度末より647,874千円増加し4,830,460千円となりました。主な要因は、有形固定資産が381,730千円、投資有価証券が208,779千円増加したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より556,957千円減少し7,515,254千円となりました。主な要因は、買掛金が632,598千円減少したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より21,791千円減少し243,518千円となりました。主な要因は、その他に含まれる長期資産除去債務が15,247千円、繰延税金負債が9,140千円減少したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・前連結会計年度末より691,931千円増加し14,649,559千円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定が119,887千円減少したものの、利益剰余金が480,386千円、資本剰余金が343,125千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、9,980,660千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,316,976千円の収入(前年同期は158,622千円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前中間純利益1,400,926千円による収入があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,000,100千円の支出(前年同期は186,058千円の収入)となりました。主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出442,225千円、有形固定資産の取得による支出432,614千円、並びに投資有価証券の取得による支出266,397千円があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、251,241千円の支出(前年同期は134,234千円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額による支出251,241千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期連結業績予想につきましては、2026年2月10日公表の通期業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2026年8月12日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,924,286	9,980,660
受取手形、売掛金及び契約資産	7,379,789	7,032,414
棚卸資産	※1 3,038	※1 2,810
その他	824,449	584,039
貸倒引当金	△19,000	△22,053
流動資産合計	18,112,564	17,577,871
固定資産		
有形固定資産	1,139,256	1,520,986
無形固定資産		
のれん	54,578	57,181
その他	166,844	226,378
無形固定資産合計	221,423	283,560
投資その他の資産		
投資有価証券	2,397,201	2,605,980
その他	1,321,977	605,582
貸倒引当金	△897,272	△185,650
投資その他の資産合計	2,821,906	3,025,913
固定資産合計	4,182,585	4,830,460
資産合計	22,295,149	22,408,332
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,056,320	5,423,721
未払法人税等	276,842	333,348
その他	1,739,049	1,758,183
流動負債合計	8,072,212	7,515,254
固定負債		
繰延税金負債	67,119	57,979
退職給付に係る負債	21,101	22,483
その他	177,088	163,055
固定負債合計	265,310	243,518
負債合計	8,337,522	7,758,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,717,126	1,717,126
資本剰余金	5,368,069	5,711,194
利益剰余金	7,538,448	8,018,834
自己株式	△2,091,607	△2,091,607
株主資本合計	12,532,035	13,355,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,134	82,444
為替換算調整勘定	822,831	702,944
退職給付に係る調整累計額	25,186	24,705
その他の包括利益累計額合計	959,152	810,094
新株予約権	163,701	174,191
非支配株主持分	302,738	309,725
純資産合計	13,957,627	14,649,559
負債純資産合計	22,295,149	22,408,332

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月 1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月 1日 至 2026年6月30日)
売上高	5,906,738	6,324,952
売上原価	1,064,492	969,146
売上総利益	4,842,245	5,355,806
販売費及び一般管理費	※1 4,865,318	※1 4,399,108
営業利益又は営業損失 (△)	△23,073	956,697
営業外収益		
受取利息	10,619	14,494
受取配当金	1,836	72
持分法による投資利益	68,397	104,850
為替差益	—	719
投資事業組合運用益	66,498	57,886
その他	15,711	20,799
営業外収益合計	163,064	198,822
営業外費用		
為替差損	14,676	—
貸倒引当金繰入額	—	6,459
その他	2,368	573
営業外費用合計	17,045	7,033
経常利益	122,945	1,148,486
特別利益		
固定資産売却益	260	10,000
投資有価証券売却益	67,422	10,507
関係会社株式売却益	5,141	323,763
新株予約権戻入益	—	2,128
特別利益合計	72,824	346,399
特別損失		
持分変動損失	212	—
減損損失	—	17,926
投資有価証券評価損	66,257	50,038
関係会社株式売却損	578	7
関係会社清算損	—	887
和解金	—	5,824
在外連結子会社リストラクチャリング費用	8,071	19,274
特別損失合計	75,120	93,959
税金等調整前中間純利益	120,649	1,400,926
法人税、住民税及び事業税	203,738	329,504
法人税等調整額	△22,450	△16,844
法人税等合計	181,288	312,659
中間純利益又は中間純損失 (△)	△60,638	1,088,266
非支配株主に帰属する中間純利益	16,356	13,847
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失 (△)	△76,994	1,074,419

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月 1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月 1日 至 2026年6月30日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	△60,638	1,088,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76,220	△28,786
為替換算調整勘定	△12,816	△239,201
退職給付に係る調整額	1,761	△480
持分法適用会社に対する持分相当額	14,418	126,412
その他の包括利益合計	△72,857	△142,055
中間包括利益	△133,496	946,211
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△156,311	925,362
非支配株主に係る中間包括利益	22,815	20,849

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月 1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月 1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	120,649	1,400,926
減価償却費	55,188	51,454
のれん償却額	11,396	17,396
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,351	△18,130
株式報酬費用	16,455	13,266
受取利息及び受取配当金	△12,455	△14,566
固定資産売却損益 (△は益)	△260	△10,000
減損損失	—	17,926
投資事業組合運用損益 (△は益)	△66,498	△57,886
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△5,727	39,530
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△323,755
持分変動損益 (△は益)	212	—
持分法による投資損益 (△は益)	△68,397	△104,850
関係会社清算損益 (△は益)	—	887
新株予約権戻入益	—	△2,128
売上債権の増減額 (△は増加)	1,527,459	△272,957
前渡金の増減額 (△は増加)	384	△20,869
仕入債務の増減額 (△は減少)	△962,973	466,863
未収入金の増減額 (△は増加)	△9,744	△32,427
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△86,608	194,516
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△200,334	△143,211
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△105,481	△58,006
前払費用の増減額 (△は増加)	62,425	13,444
前受金の増減額 (△は減少)	88,862	332,226
預り金の増減額 (△は減少)	△9,024	△6,305
その他	△58,529	△50,609
小計	291,647	1,432,733
利息及び配当金の受取額	87,638	105,006
補助金の受取額	349	523
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△221,011	△221,286
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,622	1,316,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△254,144	△432,614
無形固定資産の取得による支出	△70,070	△92,089
投資有価証券の取得による支出	△54,412	△266,397
投資有価証券の売却による収入	70,770	100,979
投資事業組合からの分配による収入	213,164	107,830
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	192,744	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△442,225
関係会社清算による収入	—	28,592
貸付けによる支出	△8,600	△13,281
貸付金の回収による収入	8,691	8,952
差入保証金の差入による支出	△6,318	△8,620
差入保証金の回収による収入	116,273	13,583
その他	△22,040	△4,812
投資活動によるキャッシュ・フロー	186,058	△1,000,100
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△117,622	△251,241
非支配株主への配当金の支払額	△16,612	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134,234	△251,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	63,906	△9,260
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	274,353	56,374
現金及び現金同等物の期首残高	10,040,546	9,924,286
現金及び現金同等物の中間期末残高	※1 10,314,899	※1 9,980,660

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結損益 計算書計上額 (注)3
	アドブラット フォーム事業	エージェン シー事業	計				
売上高							
国内	2,313,302	1,977,137	4,290,440	639,216	4,929,657	—	4,929,657
海外	25,782	951,298	977,080	—	977,080	—	977,080
顧客との契約から生じる収益	2,339,085	2,928,435	5,267,521	639,216	5,906,738	—	5,906,738
外部顧客に対する売上高	2,339,085	2,928,435	5,267,521	639,216	5,906,738	—	5,906,738
セグメント間の内部売上高又は振替高	264,227	60,581	324,808	199,282	524,091	△524,091	—
計	2,603,312	2,989,017	5,592,330	838,499	6,430,829	△524,091	5,906,738
セグメント利益又は損失(△)	587,617	247,176	834,794	96,325	931,120	△954,193	△23,073

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△954,193千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であり、主に役員及び間接部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」において、前中間連結会計期間に行われた子会社株式の取得における条件付対価の支払いにより、のれんを追加的に計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間において15,000千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結損益 計算書計上額 (注)3
	アドプラットフォーム事業	エージェンシー事業	計				
売上高							
国内	2,562,107	2,118,658	4,680,765	776,768	5,457,533	—	5,457,533
海外	38,172	829,246	867,419	—	867,419	—	867,419
顧客との契約から生じる収益	2,600,280	2,947,904	5,548,184	776,768	6,324,952	—	6,324,952
外部顧客に対する売上高	2,600,280	2,947,904	5,548,184	776,768	6,324,952	—	6,324,952
セグメント間の内部売上高又は振替高	311,016	47,372	358,388	194,396	552,785	△552,785	—
計	2,911,297	2,995,276	5,906,573	971,164	6,877,738	△552,785	6,324,952
セグメント利益	955,443	632,866	1,588,309	182,215	1,770,524	△813,826	956,697

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△813,826千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であり、主に役員及び間接部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間に、「エージェンシー事業」において減損損失を7,032千円、「その他」において減損損失を3,654千円、その他全社資産において減損損失を7,239千円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」において、前々中間連結会計期間に行われた子会社株式の取得における条件付対価の支払いにより、のれんを追加的に計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間において、11,000千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※1 棚卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
商品及び製品	2,074千円	1,876千円
原材料及び貯蔵品	964	933

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
給与及び手当	2,407,063千円	2,115,287千円
退職給付費用	28,995	25,762
支払手数料	943,207	918,111
貸倒引当金繰入額	△986	189

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月 1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月 1日 至 2026年6月30日)
現金及び預金勘定	10,314,899千円	9,980,660千円
預入期間が3か月を超える定期預金	—	—
現金及び現金同等物	10,314,899	9,980,660

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。